

2015年1月26日 全7頁

## Indicators Update

# 12月貿易統計

原油価格下落で貿易赤字は大きく縮小

エコノミック・インテリジェンス・チーム  
エコノミスト 橋本 政彦

### [要約]

- 2014年12月の貿易統計では、輸出金額は前年比+12.9%と4ヶ月連続の増加となり、市場コンセンサス（同+11.2%）を上回った。円安が進んだことを主因に輸出価格は同+8.7%と大幅に上昇したことに加えて、輸出数量が同+3.9%と2ヶ月ぶりに前年を上回ったことが輸出金額を押し上げた。季節調整値で見た輸出金額は前月比+2.0%と7ヶ月連続の増加となっており、輸出金額は円安進行による価格上昇を主因に増加傾向が続いている。
- 12月の輸入金額は、前年比+1.9%と2ヶ月ぶりの増加となった。輸出と同様、円安進行による上昇圧力により輸入価格が前年比+3.8%と前年を上回ったことが輸入金額を押し上げた。ただし、原油などの国際商品市況の下落が輸入価格を押し下げる要因となったことから、輸入価格の上昇幅は前月（同+5.7%）から縮小し、輸出価格に比べても上昇幅は小幅に留まっている。
- 貿易収支は▲6,607億円と30ヶ月連続の赤字となったものの、赤字幅は前年同月からおよそ半減することとなった。季節調整値で見た輸入金額は、輸出金額の増加傾向とは対照的に、このところ横ばいで推移しており、季節調整値で見た貿易収支も▲7,121億円と、3ヶ月連続で赤字幅が縮小した。

### 貿易統計の概況(原系列、前年比、%)

	2014年									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
輸出金額	5.1	▲2.7	▲1.9	3.9	▲1.3	6.9	9.6	4.9	12.9	
コンセンサス									11.2	
DIR予想									9.6	
輸入金額	3.4	▲3.5	8.5	2.4	▲1.4	6.3	3.1	▲1.6	1.9	
輸出数量	2.0	▲3.4	▲1.6	1.0	▲2.9	2.8	4.8	▲1.7	3.9	
価格	3.0	0.7	▲0.3	2.9	1.6	4.0	4.6	6.7	8.7	
輸入数量	▲1.3	▲4.0	7.2	▲0.3	▲4.5	3.0	▲1.7	▲7.0	▲1.8	
価格	4.8	0.5	1.2	2.7	3.3	3.2	4.9	5.7	3.8	
貿易収支	▲8,149	▲9,108	▲8,285	▲9,649	▲9,527	▲9,641	▲7,407	▲8,935	▲6,607	

(注1) 貿易収支は億円。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

## 輸出金額は4ヶ月連続の前年比増加、10-12月期の外需寄与度は+0.2～+0.3%pt程度

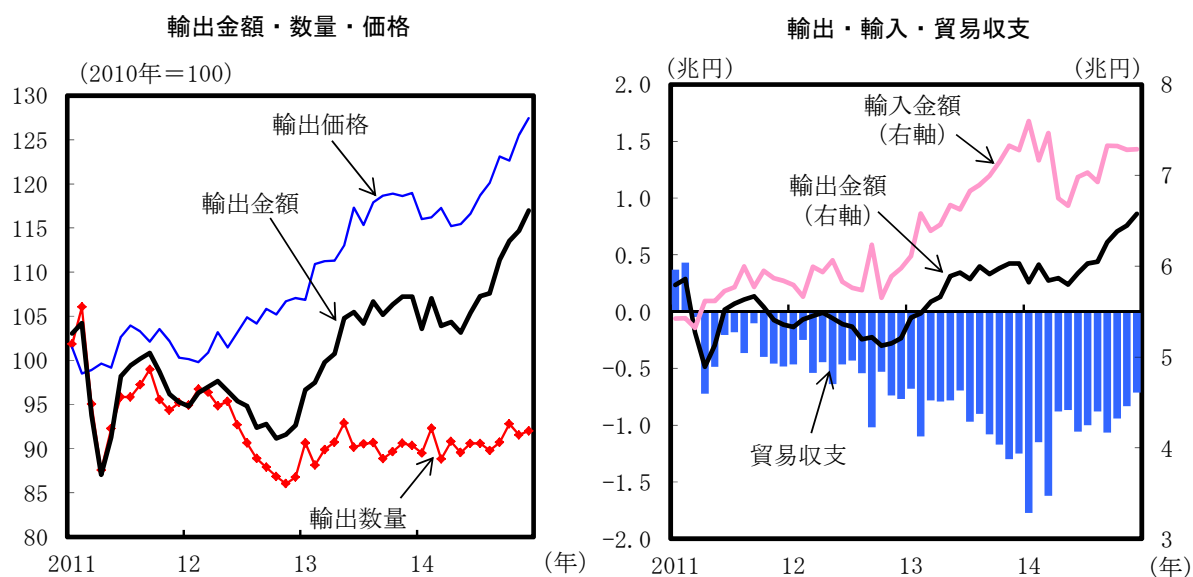
2014年12月の貿易統計では、輸出金額は前年比+12.9%と4ヶ月連続の増加となり、市場コンセンサス（同+11.2%）を上回った。円安が進んだことを主因に輸出価格は同+8.7%と大幅に上昇したことに加えて、輸出数量が同+3.9%と2ヶ月ぶりに前年を上回ったことが輸出金額を押し上げた。季節調整値で見た輸出金額は前月比+2.0%と7ヶ月連続の増加となっており、輸出金額は円安進行による価格上昇を主因に増加傾向が続いている。

12月の輸入金額は、前年比+1.9%と2ヶ月ぶりの増加となった。輸出と同様、円安進行による上昇圧力により輸入価格が前年比+3.8%と前年を上回ったことが輸入金額を押し上げた。ただし、原油などの国際商品市況の下落が輸入価格を押し下げる要因となったことから、輸入価格の上昇幅は前月（同+5.7%）から縮小し、輸出価格に比べても上昇幅は小幅に留まっている。輸入数量については、前年が消費税増税前の駆け込み需要によって高水準だったことから、同▲1.8%と3ヶ月連続の前年割れとなった。

この結果、貿易収支は▲6,607億円と30ヶ月連続の赤字となったものの、赤字幅は前年同月からおよそ半減することとなった。季節調整値で見た輸入金額は、輸出金額の増加傾向とは対照的に、このところ横ばいで推移しており、季節調整値で見た貿易収支も▲7,121億円と、3ヶ月連続で赤字幅が縮小した。

なお、今回の結果を基に、10-12月期GDPにおける輸出入を暫定的に推計したところ、実質輸出は前期比+2%程度の増加、実質輸入は同+1%程度の増加となる見込みであり、外需寄与度は前期比+0.2%pt～+0.3%ptになるとみられる。

### 輸出金額・数量・価格、貿易収支（季節調整値）



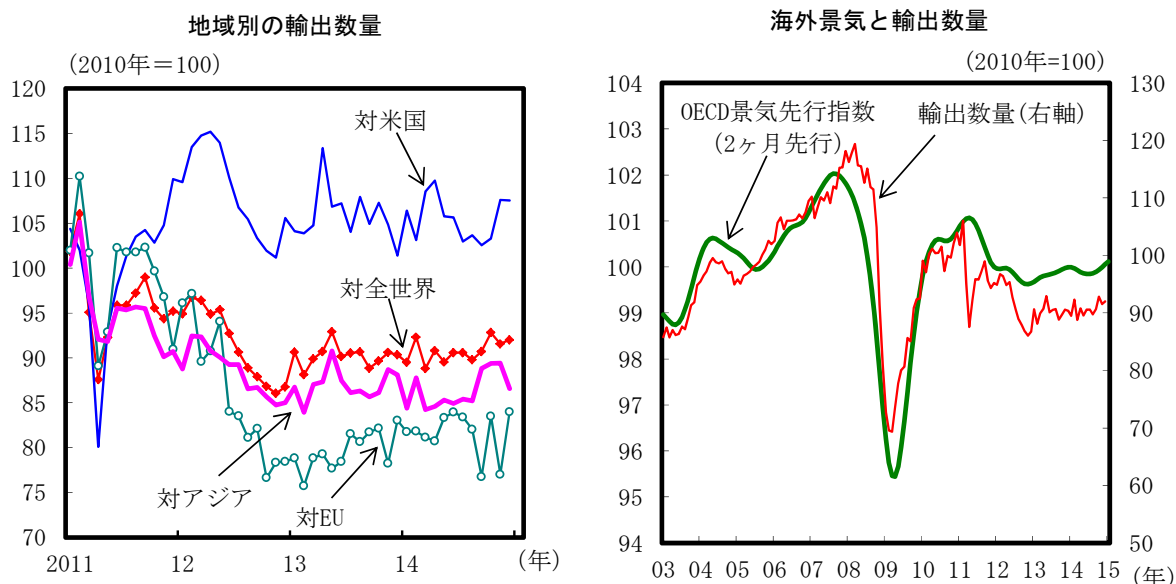
(注) 輸出数量、輸出価格の季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

## 輸出数量は2ヶ月ぶりの増加、非常に緩やかな増加傾向

輸出数量指数を季節調整値で見ると（季節調整は大和総研による）、前月比+0.5%と2ヶ月ぶりの上昇となった。3ヶ月移動平均値は5ヶ月連続の増加となっており、輸出数量は非常に緩やかであるものの増加傾向になっている。地域別の動向を見ると、米国向けが同▲0.1%とほぼ横ばい、アジア向けが同▲3.2%と減少する中、EU向け（同+9.1%）の大幅な増加が全体を押し上げた。

米国向けについては、前月大きく減少した自動車の輸出数量が増加に転じたことや、鉄鋼輸出の増加が輸出数量の押し上げ要因となった。一方で、電気機器が前月から減少したことが下押し要因となり、全体としてはほぼ横ばいとなったとみられる。アジア向けに関しては、電子部品輸出が、アジアNIEs、ASEAN向けを中心に低調だった模様。EUについては、前月不調だった一般機械、電気機器、輸送用機器の主力品目が軒並み増加に転じたとみられる。

### 地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

## 円安・原油安は貿易赤字縮小に寄与

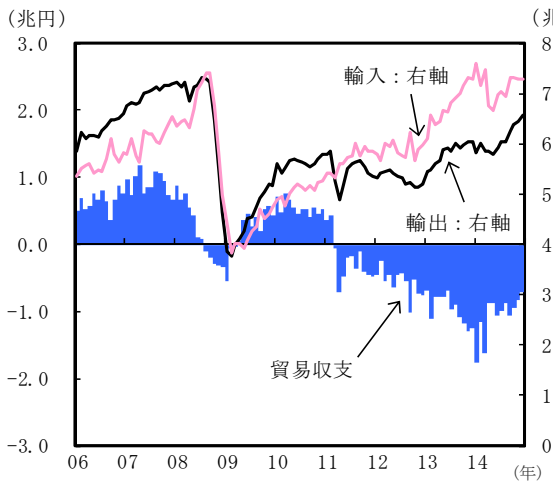
輸出数量の先行きに関しては、海外経済の回復に伴って増加基調が続くとみている。輸出相手先別に景気動向を見ると、米国では、堅調な個人消費が牽引役となり景気拡大が続いている。米国向け輸出の主力製品である自動車については、国内メーカーの現地生産化の進展によって伸び悩んでいるものの、企業部門の回復に伴い、資本財を中心とした輸出の増加が期待される。欧州や中国で、このところ景気が減速している点は懸念材料であるものの、欧州経済については ECB による追加金融緩和による効果などから、徐々に持ち直しに向かうとみている。また、米国依存度が高い中国以外のアジア新興国経済に関しては、米国の景気拡大に牽引されて増勢

を強めると予想している。このため欧州、アジア向け輸出も徐々に増加基調となる見通しである。

貿易収支の先行きについては、海外経済の回復を背景に輸出数量が増加基調となることで、貿易収支の赤字幅は徐々に縮小していくと予想している。また、短期的には原油価格の下落が貿易赤字の縮小に大きく寄与する見込みである。12月の貿易統計における原油輸入単価は79ドル/bblと、50ドル/bbl程度で推移していた国際原油市況に比べるとまだ高い水準となっている。貿易統計における原油輸入単価は国際原油市況に1ヶ月程度遅れて動くことから、1月以降の原油輸入金額は一層減少するとみられ、貿易赤字縮小に寄与する公算が大きい。内需の拡大に合わせて輸入数量も増加基調になると見込んでいるため、貿易収支の早期黒字化は見込んでいないが、原油価格が一層下落することとなれば貿易収支の黒字化は前倒しされることとなろう。

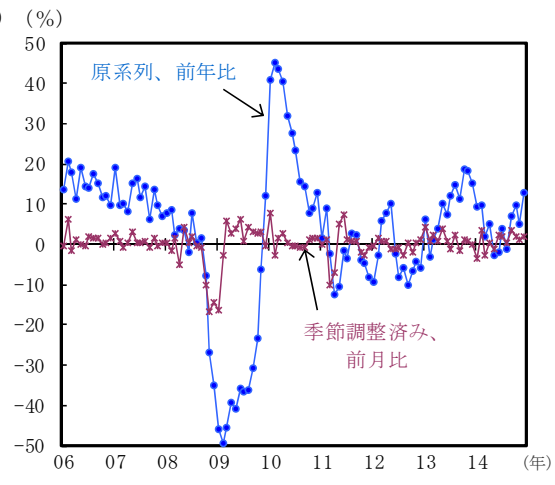
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

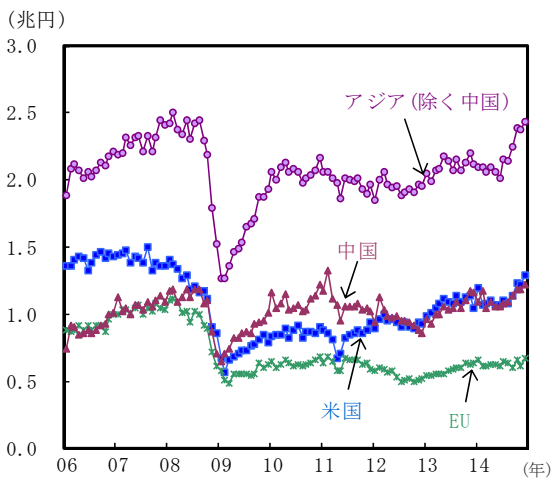


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

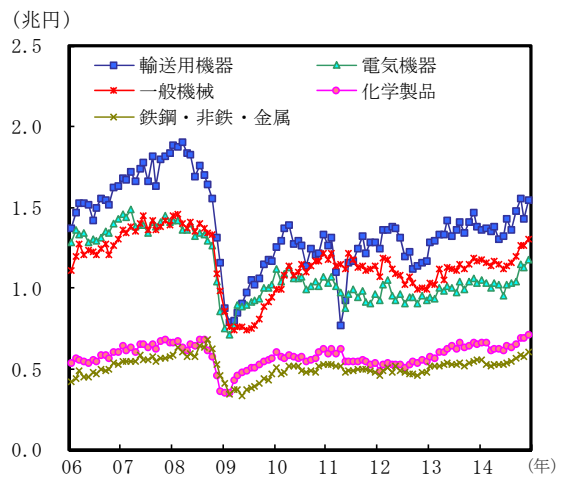


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

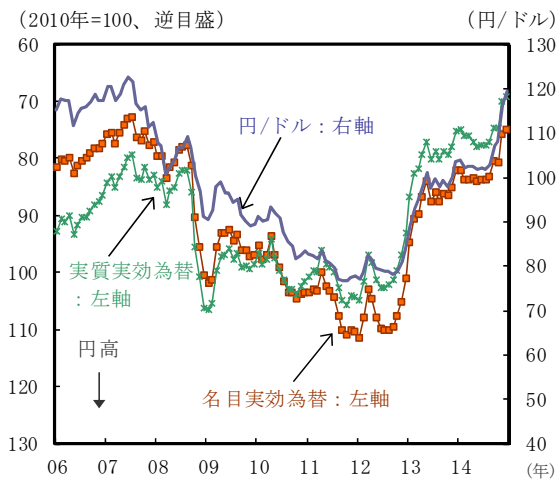


(注) 季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

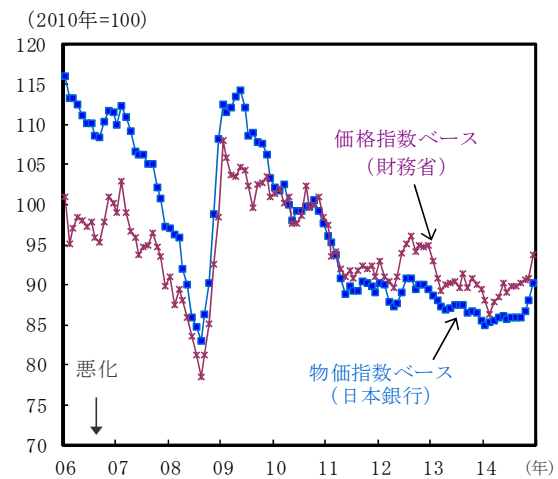


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2014/07	2014/08	2014/09	2014/10	2014/11	2014/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	3.9	▲1.3	6.9	9.6	4.9	12.9	100.0	12.9
食料品	10.1	8.2	5.1	20.2	12.2	10.7	0.8	0.1
原料品	16.8	2.6	3.6	1.8	2.5	9.9	1.6	0.2
鉱物性燃料	▲7.1	▲16.3	▲13.9	▲8.8	▲1.4	15.2	1.8	0.3
化学製品	2.6	▲5.4	3.7	8.8	3.6	8.0	10.5	0.9
原料別製品	1.5	▲0.5	7.9	9.0	4.5	9.4	12.7	1.2
鉄鋼	▲4.2	▲1.7	14.0	11.8	4.9	11.7	5.5	0.6
非鉄金属	12.3	6.3	8.2	8.3	12.9	6.5	1.8	0.1
金属製品	8.5	▲1.5	▲0.6	5.2	▲1.8	7.7	1.6	0.1
一般機械	2.2	1.1	6.5	9.8	6.2	11.3	20.0	2.3
電気機器	3.8	▲0.8	4.3	10.8	7.4	13.9	17.4	2.4
半導体等電子部品	▲0.7	0.9	8.0	8.7	14.7	17.8	5.1	0.9
I C	▲4.4	0.6	7.8	8.6	15.0	21.1	3.5	0.7
映像記録・再生機器	▲24.8	▲25.9	▲22.0	▲14.0	▲13.3	▲17.9	0.6	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲11.2	▲20.3	▲23.0	▲18.2	▲18.0	▲8.9	0.4	▲0.0
電気回路等の機器	5.8	2.9	8.5	14.4	5.5	12.2	2.5	0.3
輸送用機器	4.8	▲3.2	9.1	10.6	▲2.9	10.9	22.1	2.4
自動車	8.1	▲2.9	7.0	6.2	▲0.7	12.5	14.8	1.9
自動車の部分品	3.4	▲7.2	1.5	3.0	▲3.3	5.7	4.7	0.3
その他	9.5	2.2	14.6	11.0	18.1	26.6	13.1	3.1
科学光学機器	9.9	4.1	11.5	12.4	12.6	14.5	3.5	0.5

米国向け輸出金額 内訳								
	2014/07	2014/08	2014/09	2014/10	2014/11	2014/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	2.1	▲4.4	4.4	8.9	6.8	23.7	100.0	23.7
食料品	9.2	13.6	▲9.3	19.4	14.6	28.2	0.5	0.1
原料品	63.9	17.0	19.7	▲39.9	74.3	60.7	0.6	0.3
鉱物性燃料	▲65.9	46.3	▲21.9	22.2	522.3	4.7	0.0	0.0
化学製品	3.0	▲9.9	1.6	5.9	14.8	36.0	5.9	1.9
原料別製品	7.1	6.1	18.5	22.6	20.8	40.5	7.8	2.8
鉄鋼	▲3.4	3.1	32.2	8.8	41.9	67.7	2.7	1.3
非鉄金属	21.4	34.1	35.2	64.7	30.0	33.8	0.6	0.2
金属製品	2.1	▲2.3	2.8	15.1	6.2	24.2	1.5	0.4
一般機械	10.2	0.2	15.6	18.4	14.0	23.4	23.1	5.4
電気機器	2.0	▲2.3	▲0.7	14.5	10.3	18.3	13.4	2.6
半導体等電子部品	3.7	▲1.6	3.4	10.1	22.0	32.2	1.9	0.6
I C	0.3	▲8.4	▲3.3	8.1	12.3	30.4	1.0	0.3
映像記録・再生機器	▲34.6	▲15.9	▲13.1	▲21.5	▲22.9	▲24.0	0.6	▲0.2
音響・映像機器の部分品	▲14.4	91.4	▲34.9	27.2	▲4.7	▲11.7	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	▲0.6	▲3.2	4.9	18.6	16.7	18.9	1.5	0.3
輸送用機器	▲2.8	▲8.7	0.0	4.8	▲6.6	23.0	39.5	9.1
自動車	▲10.3	▲13.5	▲5.2	▲3.3	▲10.4	21.3	29.3	6.4
自動車の部分品	14.4	▲4.1	5.8	19.0	▲1.0	22.5	5.9	1.4
その他	4.5	▲9.0	0.8	▲4.0	25.3	14.7	9.1	1.4
科学光学機器	2.4	2.9	2.3	4.4	18.0	22.0	1.8	0.4

EU向け輸出金額 内訳								
	2014/07	2014/08	2014/09	2014/10	2014/11	2014/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	10.2	5.6	0.6	5.4	▲1.3	6.8	100.0	6.8
食料品	5.4	▲3.2	6.6	34.2	32.1	21.9	0.3	0.1
原料品	▲17.1	▲5.6	▲27.5	▲27.1	▲22.4	▲6.0	1.1	▲0.1
鉱物性燃料	▲57.4	▲64.5	▲93.5	▲90.5	▲1.2	9.3	0.3	0.0
化学製品	6.6	10.4	4.5	9.8	▲3.1	6.6	9.0	0.6
原料別製品	▲1.5	8.7	6.7	12.2	▲4.6	4.5	7.0	0.3
鉄鋼	▲38.1	20.0	30.9	4.0	11.2	8.3	1.1	0.1
非鉄金属	27.2	39.6	32.0	42.1	7.3	20.1	0.7	0.1
金属製品	1.8	4.3	6.2	12.0	▲18.6	▲3.5	1.5	▲0.1
一般機械	3.7	11.7	3.4	8.5	▲0.1	6.2	26.4	1.6
電気機器	5.2	▲2.9	1.9	7.7	▲4.5	2.7	18.5	0.5
半導体等電子部品	30.9	7.4	8.3	21.3	20.3	4.0	2.3	0.1
I C	35.3	5.3	▲5.0	11.4	19.8	0.4	1.4	0.0
映像記録・再生機器	▲45.2	▲51.5	▲27.1	▲16.8	▲39.1	▲28.0	0.9	▲0.4
音響・映像機器の部分品	▲5.9	▲20.4	▲26.8	▲47.9	▲13.1	▲17.8	0.5	▲0.1
電気回路等の機器	3.2	11.9	1.3	12.9	▲2.4	8.5	1.8	0.2
輸送用機器	30.4	11.4	3.0	5.6	4.3	5.9	22.1	1.3
自動車	74.3	33.8	8.3	11.8	3.1	15.1	13.6	1.9
自動車の部分品	▲27.3	▲29.4	▲13.3	▲7.9	▲4.0	▲2.6	5.1	▲0.1
その他	17.8	4.4	7.8	7.4	▲3.0	16.6	15.4	2.3
科学光学機器	9.4	1.3	7.0	10.7	9.1	5.5	3.4	0.2

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2014/07	2014/08	2014/09	2014/10	2014/11	2014/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	3.4	▲0.6	8.1	10.5	5.8	11.0	100.0	11.0
食料品	9.4	12.3	5.8	17.0	9.5	6.6	1.0	0.1
原料品	14.8	1.6	5.6	9.2	▲0.4	7.1	2.4	0.2
鉱物性燃料	▲2.7	▲14.0	6.6	11.0	▲6.8	27.3	2.7	0.7
化学製品	1.1	▲5.2	5.8	7.3	3.9	4.8	14.4	0.7
原料別製品	0.1	▲0.7	7.2	6.7	4.1	7.1	15.4	1.1
鉄鋼	▲5.2	▲2.7	7.7	9.0	2.4	10.3	7.0	0.7
非鉄金属	6.8	5.8	13.3	10.1	15.6	6.6	2.8	0.2
金属製品	8.3	0.2	2.0	0.0	▲3.0	4.5	1.7	0.1
一般機械	▲2.2	▲2.1	2.5	5.1	3.0	6.3	18.7	1.2
電気機器	3.9	0.1	7.4	11.2	9.2	15.5	21.7	3.2
半導体等電子部品	▲2.2	1.8	9.9	9.2	14.8	18.7	8.2	1.4
I C	▲6.7	1.1	9.3	8.6	15.1	21.7	5.8	1.1
映像記録・再生機器	▲11.3	▲13.5	▲22.0	▲5.0	8.0	▲8.8	0.6	▲0.1
音響・映像機器の部分品	1.3	▲21.7	▲15.4	▲14.4	▲14.9	0.2	0.5	0.0
電気回路等の機器	5.5	2.0	9.0	11.3	3.2	11.2	3.5	0.4
輸送用機器	15.8	▲1.8	8.9	18.3	▲6.4	▲3.3	7.8	▲0.3
自動車	17.8	5.4	10.2	13.6	6.9	2.6	3.7	0.1
自動車の部分品	3.1	▲8.0	▲1.5	▲3.0	▲9.2	▲5.8	3.5	▲0.2
その他	8.0	7.7	20.3	18.6	20.3	30.1	15.8	4.1
科学光学機器	12.3	4.4	14.1	15.5	11.8	13.3	4.7	0.6

中国向け輸出金額 内訳								
	2014/07	2014/08	2014/09	2014/10	2014/11	2014/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	2.6	▲0.2	8.7	7.2	0.9	4.3	100.0	4.3
食料品	41.8	28.0	24.3	39.1	23.3	▲1.2	0.4	▲0.0
原料品	8.7	▲3.3	0.6	0.2	▲7.5	5.4	3.6	0.2
鉱物性燃料	▲40.4	▲19.4	99.2	▲49.5	▲20.5	123.5	0.8	0.4
化学製品	▲3.6	▲12.4	▲1.9	0.6	▲1.6	3.9	16.1	0.6
原料別製品	2.5	5.4	7.7	4.0	▲4.0	2.0	12.7	0.3
鉄鋼	0.0	3.9	▲0.7	2.4	▲15.7	1.5	4.4	0.1
非鉄金属	8.0	36.7	37.3	29.0	29.3	16.5	2.6	0.4
金属製品	18.0	1.7	12.0	▲7.7	▲4.4	▲9.3	1.6	▲0.2
一般機械	▲3.6	▲4.0	0.9	6.5	▲6.7	▲2.3	19.4	▲0.5
電気機器	3.2	1.9	8.8	15.6	10.3	14.3	23.4	3.1
半導体等電子部品	▲9.2	1.8	12.9	7.5	17.0	20.8	7.8	1.4
I C	▲14.5	4.8	15.4	12.2	23.2	37.2	5.7	1.6
映像記録・再生機器	▲9.3	▲12.4	▲44.2	▲14.1	10.9	▲7.7	0.8	▲0.1
音響・映像機器の部分品	18.0	▲10.1	3.9	▲11.9	▲7.2	▲3.5	0.8	▲0.0
電気回路等の機器	10.1	6.0	12.0	19.7	4.7	14.6	3.8	0.5
輸送用機器	15.9	6.5	5.1	7.0	▲7.8	▲23.1	8.2	▲2.6
自動車	12.9	17.7	5.8	14.3	▲0.7	▲29.5	3.5	▲1.5
自動車の部分品	17.3	▲2.8	2.8	▲0.1	▲16.7	▲20.1	4.4	▲1.2
その他	9.8	8.7	28.8	14.5	16.2	20.3	15.5	2.7
科学光学機器	11.8	4.6	16.4	15.1	20.8	20.5	7.7	1.4

(出所) 財務省統計より大和総研作成